

履 歴 書

氏名 (ふりがな)	医大 花子 (いだい はなこ)				
生年月日	1977 年 10 月 17 日生	年齢	42 歳	性別	女
現住所	〒634-8521 奈良県橿原市四条町840				
電話番号	0744-22-3051 090-****-****	メールアドレス	jinji@narmed-u.ac.jp		
学歴	1996年3月 1966年4月 2003年3月 2008年4月 2010年3月	○○高校 卒業 △△大学医学部医学科 入学 同上 卒業 △△大学大学院医学研究科博士課程 入学 同上 修了			
研究歴 及び職歴	2003年4月1日 2005年4月1日 2008年3月31日 2008年4月1日 2010年9月30日 2012年4月1日 2021年3月31日 2022年4月1日	△△大学医学部附属病院 臨床研修医 △△大学医学部附属病院 ××科 医員 同上 退職 ◎◎病院 ××科 医員 同上 退職 (2010年10月1日～2012年3月31日 在家庭) △△大学医学部医学科 ◇◇学講座 助教 同上 退職 ◎◎病院 ××科 医長 現在に至る			
学会活動 及び社会活動等	2005年4月～ 日本◆◆学会 会員 2018年4月～ 日本◇◇学会 評議員 2019年4月～ ◇◇市健康政策課 政策審議委員				
免許	医師免許 (番号 999999)	取得年月日	2003年3月31日		
学位	△△大学博士 (医学) (番号 999999)	取得年月日	2010年3月25日		
その他の資格	日本◇◇学会◇◇専門医 (番号 999999) 日本◇◇学会◇◇指導医 (番号 999999)	取得年月日	2015年10月1日 2017年10月1日		
賞罰 (学会賞等を含む)	2003年3月 2005年10月 2007年12月	△△大学 学長賞 受賞 日本◇◇学会 関西大会 ポスター発表賞 日本◇◇学会 若手研究奨励賞 受賞			
上記のとおり相違ありません。 クリックして作成日を入力してください。					
氏名 (自署または記名押印)					印

空白期間があれば「在家庭」と記載。
ただし、大学院等に在籍期間の場合は
「大学院在籍」と記載。

氏名	※この欄に氏名入力すると他の頁の同じ欄にも反映されます。
----	------------------------------

研修等の受講歴 (直近 5 年間について新しい年次のものから記載)	
【FD関係】	
2020年1月10日	医学部教育講演会 「実習教材の活用方法について」
2019年11月12日	医学部教育講演会 「学生支援について」
2019年5月6日	医学部教育講演会 「基礎医学の教授法について」
2018年10月11日	医学部教育講演会 「インタラクティブな講義の進め方」
2017年7月8日	医学部教育講演会 「実習生への指導について」
【医療安全関係】	
2020年4月10日	医療安全研修 「適切な防護服の着用方法について」
2020年2月15日	医療安全研修 「院内感染防止について」
2019年12月3日	医療安全研修 「医療機器の取扱いについて」
2019年6月12日	医療安全研修 「医薬品安全について」
2018年1月31日	医療安全研修 「医療者間のコミュニケーションについて」
【医療倫理関係】	
2019年12月1日	医療倫理講演会 「患者の手術同意について」
2018年10月27日	ホスピタリティマインド研修会 「患者に対する傾聴について」
【研究倫理関係】	
2020年5月15日	研究倫理研修会 「臨床研究の審査について」
2019年9月1日	研究倫理研修会 「研究費の適正使用について」
2018年7月30日	研究倫理研修会 「統計データの取扱いについて」
【知的財産関係】	
2019年10月1日	知的財産講演会 「知的財産権 実務編」
2019年6月1日	知的財産講演会 「知的財産権 入門編」
【情報セキュリティ関係】	
2020年1月21日	個人情報保護研修 「個人情報の暗号化方法について」
2019年11月7日	個人情報保護研修 「情報セキュリティポリシーの改訂について」
【その他】	
2020年4月25日	ダイバーシティ研修 「企業のダイバーシティ政策の動向と大学の取組事例について」
2019年10月23日	ハラスメント防止研修 「アサーティブ・コミュニケーションのすすめ」
2019年7月10日	病院経営セミナー 「大学病院の収益構造について」
2019年1月11日	働き方改革講演会 「先進企業の取組事例紹介」
2018年7月13日	労務管理研修 「年上の部下を持つ管理職」

氏名

※この欄に氏名入力すると
他の頁の同じ欄にも反映されます。

教育活動の実績と抱負

1. これまで担当した授業科目等

(直近 5 年間について古い年次のものから記載、他大学・職能団体・企業等での教育実績を含む、教育補助の場合はその旨明示すること)

2018 年	〇〇〇〇学 (△△大学、◇◇学)、〇〇〇〇学 (△△大学、◇◇学)
2019 年	〇〇〇〇学 (△△大学、◇◇学)、〇〇〇〇学 (△△大学、◇◇学)
2020 年	〇〇〇〇学 (△△大学、◇◇学)、〇〇学実習 (△△大学、◇◇学)
2021 年	〇〇〇〇学 (△△大学、◇◇学)、〇〇〇〇学 (△△大学、◇◇学)、 〇〇学実習 (△△大学、◇◇学)

直近 5 年以内に授業を担当されていない方は、
それ以前の担当歴等を記載いただいても差し支えありません。

2. これまでの教育内容・方法の工夫及び今後の教育活動に対する抱負

私の教育内容と教育方法の工夫について、(1)〇〇〇 (2)〇〇〇 (3)〇〇〇の 3 つに分けて述べさせていただきます。

(1)〇〇〇については…

(2)〇〇〇においては…

(3)〇〇〇については…

これまでの経験を生かして、今後も〇〇と〇〇を実践し、〇〇〇な視点を持つ〇〇な人材の育成に取り組んでいきたいと考えています。

氏名

※この欄に氏名入力すると
他の頁の同じ欄にも反映されます。

研究・学会活動の概要と抱負

1. これまでの研究・学会活動の概要

学部在籍時に◇◇◇◇の研究室で◆◆◆◆に関する研究活動に従事した経験から、大学院ではさらに踏み込んで〇〇〇〇に関する研究として●●●●の機序に関心を持ち、その一端を明らかにする論文で学位を取得しました。

この研究で●●●●の機序を明らかにした学術的意義は・・・

大学院修了後は、■■国の□□□□大学で△△△△に関する研究室で▲▲▲▲教授に師事し、さらに●●●●の研究を進め、●●●●の〇〇〇〇に関する論文を国際誌に発表しました。

この研究は〇〇〇〇について~~~~の観点から————の点で新たな知見を提示するという学術的意義がありました。

20**年に帰国後、××××大学で◇◇◇◇学に関する教育活動の傍ら、大学院生らとともに〇〇〇〇に関する研究を行っています。

2. これからの研究・学会活動の抱負

奈良県立医科大学に着任後は、〇〇〇〇に関する研究を進め、▽▽▽▽の仕組みを明らかにしたいと考えています。この▽▽▽▽を明らかにすることで▼▼▼▼との関連が明らかにされ、これに関連する疾病に対する治療の方策、創薬に向けた臨床研究に繋がるものと考えています。

氏名

※この欄に氏名入力すると
他の頁の同じ欄にも反映されます。

診療・病院運営に関する活動の概要と抱負

1. これまでの診療・病院運営に関する活動の概要

初臨床研修終了後、大学病院と関連の市中病院の〇〇科で、主に●●●●疾患の患者さんの診療に従事してきました。

20**年に〇〇専門医を取得して以降、初期臨床研修医や専攻医の教育・指導にも従事しています。若手医師が基本的な診療手技を確実に実施できるように指導すること、特にチーム医療・多職種連携を意識して円滑なコミュニケーションを取るることについて実践を通じて教育・指導をしてきたと自負しています。

20**年からは△△病院で病棟医長として勤務し、保険担当医会議に担当者として参画、病院の保険請求の精度向上にも関心をもって診療に従事してきました。

2. これからの診療・病院運営に関する活動の抱負

奈良県立医科大学附属病院では地域の診療所等と連携を強化しながら●●●●疾患や〇〇〇〇疾患の患者さんの診療に従事します。

自身の受け持つ症例を重ねて〇〇指導医の取得を目指しながら、学生や研修医への指導に携わり、保険診療についても理解を深め大学病院の経営にも貢献していきたいと考えています。

医療安全、感染防止について高い注意を払いつつ、患者さんの利益最大化を共通の目的としてチーム医療・多職種連携が促進されるように様々な職種の方に積極的に関わっていきます。

氏名

※この欄に氏名入力すると他の頁の同じ欄にも反映されます。